

一 般 質 問

令和4年第1回九戸村議会定例会

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 中村 國夫	1 アンケート調査結果と今後の教育環境整備について	(1) 村教育委員会では、持続可能な教育環境の整備を推進するため、中学生以上の村民を対象にアンケート調査を実施されたが、集約状況と分析結果について伺う。	教育長
		(2) 村として、アンケート調査結果を受けて、今後、小学校の教育環境整備をどのように推進されていかれるのか伺う。	村 長
		(3) 本村における大幅な出生数の減少、村内小学校の複式学級の状況、加えて子どもを持つ親からの早期の学校統合を求める声が数多く聞かれます。村の見解を伺う。	村 長
	2 地域おこし協力隊について	(1) 令和3年度における地域おこし協力隊員の活動実績について伺う。	村 長
		(2) 令和4年度、地域おこし協力隊員の募集予定は6名と言われているが、増員する考えはないのか。 また、一年以内での離任者の状況について伺う。	村 長
		(3) 本村の定住、定着率向上のための課題と対策について伺う。	村 長
	3 今後の本村のイベント開催のあり方について	(1) 未だに収束が見えないコロナ禍の現状にあって、令和4年度における本村のイベント開催について、村の考え方を伺う。	村 長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 保大木 信子	1 アンケート実施後の九戸村の教育環境について  2 今後の教育環境充実に向けての取り組みについて	(1) アンケートの自由記載の内容は、どのような意見が多かったのか伺う。  (2) 複式学級や同じ学年に1人しかいない状況をどのようにとらえているのか伺う。  (1) 令和2年度の出生数が9名という現状をとらえて、九戸村の教育環境をどのようにとらえているのかを伺う。  (2) アンケート結果を受けて、今後どのような取り組みをしていくのか伺う。	教育長  教育長  村長  村長
3 山下 勝	1 人材育成について          2 森林環境譲与税の活用について	(1) 人材育成という意味では大きな役割を果たすものとして、今年度、本村では初めて地域おこし協力隊を採用したわけだが、一年を経過してどのような成果、効果があったと認識しているかを伺う。  (2) 地域おこし協力隊、最多の3名を自伐型林業に配置したわけだが、先を見通せる活動をどのように進められているのか伺う。  (3) 中・高校生の海外派遣事業など、その他の人材育成に関わる事業の検証は、どのように行われてきたのか伺う。  (4) 将来的に、どのように村政に寄与してもらうか、人材育成の方針(例えばUターンして地元就職するか、村のプロジェクトに最低数年参画するなど)を明確にして、村民に分かりやすく示すべきと考えるが、見解を伺う。  (1) 運用3年目になる森林環境譲与税は、どのように活用されてきたのか伺う。	村長  村長  村長  村長  村長

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	3 新型コロナウイルス感染症対応について	<p>(2) 生業として起業できるように、作業道敷設や重機の導入等に活用するべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 本村の森林整備事業(間伐等)の森林整備による co2 吸収量を都市部の自治体から排出される co2 の一部と相殺する取り組み(カーボンオフセット)により、資金調達に向けて有効活用してはどうか伺う。</p> <p>(1) 今年に入って、本村では出初め式、成人式が中止になったが、新型コロナウイルス陽性者が増加傾向にあるものの、以前と違う状況と認識しているが、これらの行事を中止とする判断を選択した根拠は何か伺う。</p> <p>(2) 県内の他市町村の多くは、同じ条件にありながら、実施したところが多かったようだが、本村との判断の違いをどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(3) 新年交賀会の講演会の講師の説明のなかでは、都市部と岩手県、九戸村の状況は違う現状であると話された。 それを踏まえて、これ以上、村の経済が衰退しないように、本村が独自の判断で前向きな姿勢で村政を進めるべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p> <p>村長</p>
4 久保 えみ子	1 いま最も緊急かつ重要な課題となっているコロナ対策について	<p>(1) 感染拡大や重症化を防ぐために、3回目のワクチン接種を急ぐことが重要だが、村としての取り組み状況と今後の計画について伺う。</p> <p>(2) 感染を早期に発見し、その拡大を防ぐためには感染が疑われる人に対する検査を迅速に行うことが、ますます必要だが、村としてこの取り組みをどのように進めるのか伺う。</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2 持続可能な農業経営の実現をめざす村の農業政策について	<p>(3) 困っている人、事業者への給付金を国が決めた対象者だけでなく、村独自に対象者を拡大して、給付支援することが必要であると思うが、考えを伺う。</p> <p>(1) 生産者米価が底なしの低迷を続け、他の農畜産物も生産者価格が下落する一方で、燃料費や資材費、えさ代などの高騰が続き、経営は悪化の一途をたどるばかりである この状況を抜本的に改善してこそ担い手の確保や耕作放棄地の解消、地域農業の振興に展望が開かれる。 その打開策の中心は、生産コストをカバーする農産物の価格補償です。村独自の価格補償制度を抜本的に拡充することや、新規就農者への特別の支援をすることが必要と思うが、見解を伺う。</p>	<p>村 長</p> <p>村 長</p>
	3 子どもの貧困問題について	<p>(2) 効率化一辺倒で、農薬や化学肥料に過度に依存した農業生産のあり方を見直し、有機農業など、生態系と調和した環境保全型の農業への取り組みを推進していくことが大事だと思うが、見解を伺う。</p> <p>(1) 昨今、子どもの貧困が大きな社会問題になっている。子どもの貧困解決に向け経済的支援、社会的支援を拡充することが求められていると思うが、村としての認識と対応策について伺う。</p>	<p>村 長</p> <p>村 長</p>